

## 現代のリーダーに必要な要素

結エデュケーション 取締役 森田 壮

『リージャー』とは、私どもが研修内で使用している概念・造語(リーダー+マネージャー)です。

一般的に言われる『リーダー』には様々なものが求められています。組織目標の達成・円滑な業務遂行はもちろんのこと、働き方改革の推進、ダイバーシティの浸透、ハラスメントの防止 等、多岐に渡ります。これまでのように「リーダーシップだけ発揮しておけばいい」「マネジメントさえしておけばいい」では、これらの問題解決や変化がなかなかできないのが現実です。現在では「リーダー+マネージャー」すなわち『リージャー』としての意識・考え方・行動 をとることが必要となってきます。

さらに、リージャーの大きな役割である「部下指導」も難しさを増しています。いわゆる『Z世代』と呼ばれる、これまでとは異なる価値観を有した若手職員への指導の難しさもプラスオンされるのではないのでしょうか。その特徴は、例えば『自分を変えるのではなく、相手を変えようとする』、『打たれ弱い』などと言われていきます。そう考えますと、部下指導もこれまでの様に「仕事は上司の背中を見て覚えるもんだ」や「若手は叱られて成長するもんだ」という考え方・指導の仕方では、問題が噴出してくることは容易に想像できます。

「大きな声で叱ったら翌日から来なくなった…」 「注意したら反発された」

一か所や二か所の話ではなく、多くの自治体の人事担当の方から聞かせていただく事例です。もしかすると、皆さんも明日はこの当事者になっているかも知れません。今の時代に合わせた指導方法にバージョンアップをして、互いに安心して働ける職場環境を作っていきましょう。

本研修では実践的な「リーダー」「マネージャー」の役割認識、さらに「部下指導方法」を中心に進めます。皆様のご参加をお待ちしています。

---

結エデュケーション 取締役 森田 壮

研修講師 14 年目。全国の民間企業・自治体で研修を行っております。受講生の方と「真摯に向き合う」、受講生同士の「気づきを大切にする」を大切にし、研修を行います。

